

## 初修フランス語のデジタル教材における 学習活動支援「メッセージ機能」の設計

### A Messaging Tool to Support Classroom Activities on Web Learning Platform for Beginners' French Classes

喜久川 功<sup>\*1</sup>, 有富 智世<sup>\*1</sup>  
Isao KIKUKAWA<sup>\*1</sup>, Chise ARITOMI<sup>\*1</sup>  
<sup>\*1</sup>常葉大学  
<sup>\*1</sup>Tokoha University  
Email: kikukawa@sz.tokoha-u.ac.jp

あらまし：初修フランス語教育における一斉授業と自主学習支援のデジタル教材：Web〈なびふらんせ〉の研究開発を行ってきた。本研究をさらに進め、現在は「デジタル教科書」「デジタル教材」「eポートフォリオ」「教材ダウンロード」からなる教材の一体化の検討に至っている。本検討では、アクティブラーニングの諸活動および各学習者への対応での有用も視野に入れている。そこで本稿では、授業内外でのグループ学習を活性化し得る補助システムとして「メッセージ機能」の設計と使用の概要を報告する。  
キーワード：デジタル教材、ICT活用、学習環境、語学教育、初修外国語、授業支援

#### 1. はじめに

大学等の初修フランス語教育における自主学習促進のため、デジタル教材：Web〈なびふらんせ〉の開発を行ってきた<sup>(1)</sup>。学習者は、Web〈なびふらんせ〉を用い、デジタル教材の各種コンテンツと「eポートフォリオ」の連関で学習サイクルを遂行し、効果的かつ効率よく学習を進めることができる<sup>(2)</sup>。さらに、授業者が、本デジタル教材に備えた「クラス設定機能」を「eポートフォリオ」と併せて授業時に使用することで、授業外の個々の取り組みを活性化させ、学習をより一層深めることも可能となる<sup>(3)</sup>。このことは、授業実践や授業アンケート調査結果から確証が得られた<sup>(4)</sup>。そこで、研究開発をさらに進め、現在は「デジタル教科書」「デジタル教材」「eポートフォリオ」「教材ダウンロード」からなる教材の一体化<sup>(5)</sup>の検討に至っている。本稿では、特にWeb〈なびふらんせ〉に「メッセージ機能」を付加することで、授業内外におけるグループ学習や課題提出に有効な補助システムとなる点について、設計および使用の概要を報告する。

#### 2. 「メッセージ機能」の概要

##### 2.1 機能の必要性

2011年に開発を始めたWeb〈なびふらんせ〉は、随時、コンテンツの追加や機能拡張等を行い、2018年度バージョンに至っている。現在は、「デジタル教科書」「デジタル教材」「eポートフォリオ」「教材ダウンロード」からなる教材の一体化」を目指し、補助機能追加等の見直し段階にある。本「一体化」の実現に向けて精査した結果、Web〈なびふらんせ〉は、以下の支援の追加が明らかとなった。

- ① 授業者の必要に応じてワークシート等の配布

や回収が行える

- ② グループ学習において、グループのメンバー間で情報の共有および交換ができる  
③ 上記①・②に対応する支援を「デジタル教科書」からも利用できる

上記①・②の支援を可能にするには、既存のメッセージ・ツールやオンライン・ストレージなどを利用する方法が考えられる。しかし、この場合、操作等の複雑さから利用者に負荷がかかる。また、上記③への支援を提供するための実装面においても、セキュリティ等の問題が生じる。

そこで、Web〈なびふらんせ〉に、上記①・②・③の支援が可能となる補助システム「メッセージ機能」の付加的搭載が有効であるとの判断に至った。

##### 2.2 機能の要件

- 以下に、「メッセージ機能」の要件を示しておく。  
要件①：同一クラスのユーザー（授業者・学習者）間でメッセージ交換と情報の共有が容易に行える  
要件②：授業者は、グループ設定（グループ数やメンバーの決定、グループの変更など）が柔軟に行える  
要件③：各操作は簡易性を重視し、必要最低限の機能に絞らむ

##### 2.3 実装方針

2.2節で述べた要件が満たせるよう、実装方針の検討を行った。Web〈なびふらんせ〉のユーザーIDは電子メールアドレスでの登録となっている。そこで、電子メールアドレスを活用し、課題のワークシートの送付やメッセージ交換において、電子メールを用

いることとした。さらに、「グループ設定機能」の実装には、Web〈なびふらんせ〉の「クラス設定機能」を活用して対応する。この「クラス設定機能」は、授業者がクラス毎に学習者の「eポートフォリオ」を管理できるもので、本機能の拡張によって各クラスに所属の学習者に対し、柔軟に「グループ設定」ができるよう実装を図る。

### 3. 使用例

「メッセージ機能」の使用例について概要しておく。

図1は、ワークシート等の配布・回収時の使用例である。まず、授業者（教員ID）は、「メッセージ機能」を用いてメール送信（送信先は、「個別」・「複数人」・「全員」の選択が可能）を行う（図1の①）。学習者（学生ID）は、各自のメールソフトで授業者からのメールを受信する（図1の②）。活動後のワークシート等を授業者に提出する際には、メッセージ機能を用いてメール送信を行い（図1の③）、授業者は自身のメールソフトで学習者からのメールを受信する（図1の④）。なお、学生IDからのメール送信は、「授業者」か「自分の所属しているグループ」のみとする。

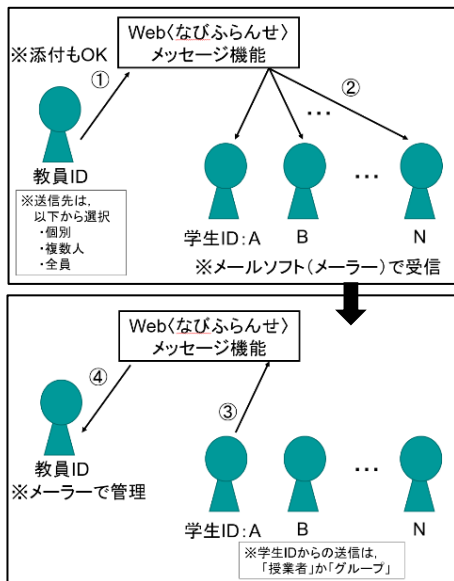


図1 ワークシート等の配布・回収時

図2は、グループ学習時にグループで情報交換を行う場合の使用例である。まず、授業者は、「グループ設定機能」を用いてグループを作成する（図2の①）。その後、授業者はグループにメール送信処理を行い（図2の②）、メールは授業者とグループのメンバーに送られる（図2の③）。同様に、学習者からグループへのメールは（図2の④）、授業者とグループ・メンバーに送られる（図2の⑤）。

なお、「デジタル教科書」からの利用については、容易にメッセージ機能にアクセスできるよう、「デジタル教科書」画面にメールマーク（✉）を設置するなど、工夫を行いたいと考えている。

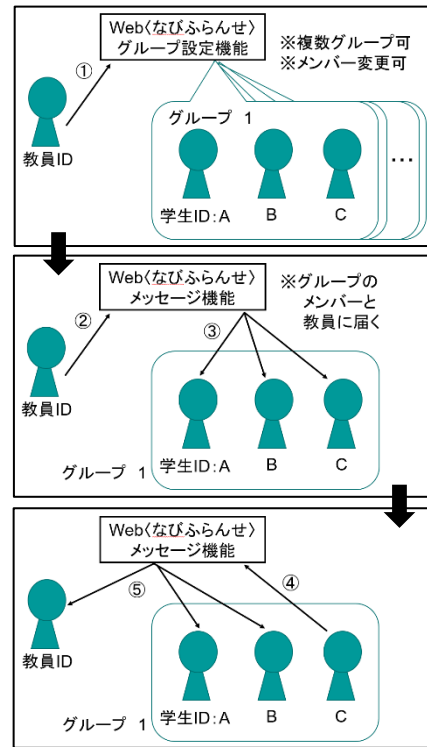


図2 グループ間の情報交換時

### 4. おわりに

本稿では、デジタル教材：Web〈なびふらんせ〉に新たに加えて有用性を図る補助システム「メッセージ機能」について、設計概要および使用例を示した。今後は、本機能を実装した上で、「デジタル教科書」「デジタル教材」「eポートフォリオ」「教材ダウンロード」からなる教材の一体化の一部としての機能精査を行い、新たな学習支援環境の構築と充実を目指したい。

#### 参考文献

- (1) 有富智世, 喜久川功: “デジタル教材「Web〈なびふらんせ〉””, <http://navifr.fj.tokoha-u.ac.jp/> (2012-現在に至る)
- (2) 有富智世, 喜久川功: “フランス語学習支援の可能性—教材「Web〈なびふらんせ〉2013」の活用とeポートフォリオのあり方—”, 教育システム情報学会, 研究報告, Vol.28, No.3, pp. 39-44 (2013)
- (3) 有富智世, 喜久川功: “初修外国語教育におけるeポートフォリオ活用モデルの提案”, 日本教育工学会, 第32回全国大会講演論文集, pp. 643-644 (2016)
- (4) 有富智世, 喜久川功, 服部悦子, 山田敏之: “フランス語教育の可能性—教科書『なびふらんせ1』とデジタル教材「Web〈なびふらんせ-1〉—”, 関西フランス語教育研究会, RENCONTRES 30, pp. 10-14 (2016)
- (5) 有富智世, 喜久川功, 内田智秀, 服部悦子, 山田敏之: “授業内活動と自主学習を活性化する学習支援ツールの一体化—デジタル教科書・デジタル教材・eポートフォリオ・教材ダウンロード—”, 第32回 関西フランス語教育研究会 (於 上田安子服飾専門学校) (2018)